科目名称	基礎看護学方法論Ⅴ（看護過程の基礎）	学年学期	単位数	時間数
		1 学年後期	1	30
担当教員	福田　栄江	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 **授業概要**

対象の健康課題に対して、科学的な思考のもと情報収集・分析・計画立案・実施・評価を行う必要性と方法を理解し問題解決技法を習得する。

【2】 **学習目標**

1. 情報の取り扱い方、情報の種類、情報整理の方法について説明できる。
2. 初期アセスメント、焦点（重点）アセスメント、経時的アセスメント、救命・救急アセスメントなどの各種アセスメントの目的について説明できる。
3. アセスメントに必要な技術である観察技術、面接技術、身体診査技術（フィジカルアセスメントテクニック）、直感について説明できる。
4. 病像・生活像・人間像を統合した全体論的な見方である全体像の特徴について説明できる。
5. 問題点の抽出方法、優先順位の考え方、問題点の表現方法について説明できる。
6. 看護目標、解決目標の考え方、具体的な計画立案の方法について説明できる。
7. 看護計画に基づいた実施の方法、評価の視点・方法、追加・修正のステップについて説明できる。
8. 実際に紙上事例を展開し、情報収集、情報解釈・分析、全体像、看護目標、看護問題、看護計画を記述することができる。
9. 経過記録の意義・目的・記録の必要性・診療記録と看護記録の法的概念・経過記録の種類とその特徴・記録上の注意事項・管理方法について説明できる。
10. 問題指向型記録（POS）・フォーカスチャーティング・経時記録の特徴を理解し、各経過記録を記述することができる。

【3】 **第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性**

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種との連携・協働
□ 6. 地域医療の理解と生活の支援
■ 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 **授業計画**

	内容	主な授業形態
1	看護過程の概念	講義
2	アセスメント：情報収集	講義
3	アセスメント：情報分析・解釈	講義
4	アセスメントの統合・全体像の描写	講義
5	看護問題の明確化（看護診断）	講義
6	看護計画立案	講義
7	実施・評価	講義
8	看護過程の実際（1）	演習
9	看護過程の実際（2）	演習
10	看護過程の実際（3）	演習
11	看護過程の実際（4）	演習
12	看護過程の実際（5）	演習
13	NANDA-I 看護診断	講義
14	記録と報告	講義
15	筆記試験・まとめ	

【5】 評価方法

科目評価は、筆記試験(60%)、レポート内容(40%)、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。

【6】 教科書

茂野香おる ： 系統看護学講座　専門分野　基礎看護学(2)　基礎看護技術Ⅰ（第 18 版）医学書院　2022
T.ヘザー・ハードマン、上鶴重美 ： NANDA-I 看護診断定義と分類 2021-2023（原書第 12 版）医学書院　2022

【7】 参考書

横井和美 ： 看護過程の展開に沿った実習記録の書き方とポイント(初版)　サイオ出版　2017
任和子 ： 実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド(初版)　照林社 2015
高木永子 ： 看護過程に沿った対症看護(第 5 版)　学研メディカル秀潤社 2018

【8】 受講生へのメッセージ

看護過程を楽しく学んで行きましょう。